

アンケート調査結果

履修生向けアンケート結果

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」
「NACE キャンパス長崎」コーディネーター科目履修生向けアンケート調査

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」では、多職種協働の実践を志向した学生教育を今後継続するため、「NACE キャンパス長崎」コーディネーター科目の履修者を対象に、今後の学びや関わりの変化などに関するアンケートを行うこととなりました。
アンケートへの協力とご理解を頂き、ご厚意のないご意見を頂ければ幸いです。

〔在学生・卒業生ともにお読みください〕

1. 現在のあなたの状況は？

・学生/学部 _____ 学科 _____ 専攻 _____ / 大学院生/専攻 _____
・社会人/職種 _____ 職階 _____ 業種 _____ ※ 既開校済みのNACE長崎にて回答してください

2. あなたがこれまでに履修した科目を○で囲んでください(複数回答可)。

科目提供大学	講義	実習	実習
長崎大学	在宅ケア概論 在宅がん診療概論	在宅がん診療科論	在宅ケア-臨床実践基礎学習 地域在宅ケア実践学習
長崎県立大学	在宅緩和ケア概論	在宅緩和ケア概論	在宅がん診療-緩和ケア実習
長崎国際大学	在宅医療概論 地域在宅ケア概論		

3. 履修した科目を受講したことで他職種(他学部)との関わりに変化がありましたか？

前より関わりやすくなった 関わりやすくなった 変わりませんでした 変わりませんでした

4. 履修した科目を受講してその後の専門教育の学びへの影響はいかがでしたか？

前より学習になった 学習になった あまり学習にはならなかった 全く学習にはならなかった

5. 履修した科目を受講してその後の進路決定に役立ちましたか？

前より学習になった 学習になった あまり学習にはならなかった 全く学習にはならなかった

6. 受講した履修科目について他の学生にも勧めたいと思いますか？

非常に勧めたい 勧めたい あまり勧めたくない 全く勧めたくない

7. 受講した履修科目を振り返って、在宅医療・福祉コンソーシアム長崎が取り組む大学間連携による多職種協働教育に望むことについてお答えください(複数回答可)

今後も継続実施してほしい 実施継続への教育を拡げてほしい
 より多くの学部・学科の学生が受講してほしい 大学間での科目の時間的ずれを調整してほしい
 卒業後も継続して学ぶ機会を提供してほしい 就職がなかったら受講できなかったらどうしてほしい
 その他、何かお気づきことやご意見などあればお書きください。

— 裏面へつづく

〔卒業生のみにお読みください〕

8. あなたの今の職種は何ですか？

医師 歯科医師 薬剤師 看護師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
 管理栄養士 歯科衛生士 社会福祉士 介護福祉士 大学関係 その他

9. 履修した科目を受講したことが多職種協働を実践する上で役に立っていると感じますか？

大いに思う 思う あまり思わない ほとんど思わない

可能な範囲で、具体的な内容をお書きください。

10. 履修した科目を受講したことが現在の職業で役に立っていると感じていますか？

大いに思う 思う あまりない ほとんどない

可能な範囲で、具体的な内容をお書きください。

11. 自由記述欄(その他、ご意見・ご感想をお書きください)

ご回答ありがとうございました。

本調査へのお問い合わせ先: 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎
TEL/FAX: 095-819-8372 E-mail: info@nacc-nagasaki.jp

回収数170/509名

長崎大学	40名
長崎県立大学	46名
長崎国際大学	84名
	170名

講義のみ	101名
実習・演習のみ	32名
講義と実習・演習	34名
未記入	3名

<意見・感想一部抜粋、編集>

・体験学習では他大学の学生の参加が多く、長大生は少なくて残念だった。講義でも1・2年ということもあり参加者が少なくもったいなく感じた。オムニバスでいろいろな職種でご活躍されている方の話を聞ける機会は少ないので、もう少し学生が開講情報を知る機会が増えることと、参加してどういうことを学べるかを具体的に描けるようなサポートが必要と感じた。(看護学科)

・1年次に受講させていただき、他大学の他学科の方とグループワークができたことは今でもいい思い出で、貴重な体験ができたと思っています。(社会福祉学科)

・私が1年の時に在宅ケア概論を受講しました。訪問歯科があることを初めて知りました。

翌年身内が在宅ケアを受けることがあり、担当のMSWの方に訪問歯科の先生を紹介してもらいました。この授業を受けていなかったらできなかったと思います。改めて「知っていることでより良いケアを受けることができる」と実感しました。この講座を受講して本当に良かったです。(医学科)

<考察>

平成24年度から平成27年度までにコーディネーター科目を履修して頂いた在学生509名のうち170名より回答を得ることが出来た。実習・演習を履修した学生は、講義のみ履修した学生よりも専門的学習の参考になっている傾向が確認され、科目構成などこれまで取り組んできた実習・演習科目については一定の評価を受けられたことが推察される。しかし、他学部・他学科との関わりや進路決定には影響を与えることはできていないことも確認された。現在行われている実習・演習は、一部の学生に受講が限られていることもあり、今後は科目の更なる改善を行う必要性が示唆されたものとする。また参加学生の卒業後の進路において、現状では在宅医療に携わる機会は限られており、卒業教育の中でも考慮していく必要があると思われる。受講後の感想では、「他の学生にも勧めたい」「今後も継続して開講してほしい」など多数の意見もあり、本取組を今後も継続・推進して、人材育成に努めていきたい。

